

支 部 欄

京都支部・京星會だより (8月)

8月は京星會の年度末である。7月に第3年度を迎えるための幹事會議が開催され、基礎的な諸點の決定がなされたが、其後8月に入つてから各部役員間の私的な會合や、部長會議等が開かれ詳細な打合せがなされ、振替貯金加入、諸用紙印刷物の製作もされて、本月末9月からの第3年度に對する事業、事務、其他總ての準備が完了された。『星光』に發表し、總會に於て詳細に説明せられるものであるが、次に記する事とする。

○振替貯金口座加入 會員諸氏の便宜を計り8月に振替口座に加入した。口座番號は大阪103539番、名義は京星會。會費拂込其他に簡便確實なこの口座を利用されたい。

○第3年度(自昭和11年9月1日 至昭和12年8月31日)事業豫定

(出 版 物)

1. 星 光 (會と會員に關する通報誌・機關誌) 發行 11年9月・12年3月.
2. 京 星 (天文研究誌・第3卷第11號より) 發行 11年10月・12年1月・4月・7月.
3. 會 報 (天文ニュース・諸通知・花山急報) 型不定期なれど毎月發行豫定.

(會 合)

1. 定 時 總 會 (第3回總會、樂友會館に於て) 開催 11年9月20日.
2. 天 文 座 談 會 (顧問先生の御講話・會員研究發表) 開催 12年3月.
3. 天 體 觀 望 會 (會員所有望遠鏡にて觀望・天文解説) 開催 11年10月・12年4月.
4. 見 學 ・ ハ イ キ ン グ (天文研究會・協會大阪支部と合同) 開催 11年11月・12年5月.
5. 懇 親 會 (新年及び納涼・同趣味者の楽しい會合) 開催12年1月・7月.

(其 他)

1. 觀 測 指 導 觀測に適當な時季に各課に於て共同觀測・觀測指導會開催.

●以上事業は確定せるものとして多少時期の變更ありとも決行すべきもの。以上以外の事業は各部に於て研究・時宜に應じて行ふ。

○各 部 役 員 (事業責任者)

- 總務部 部長 吉岡久雄 (常務 宇野良雄, 庶務 高井博典, 會計 吉岡久男).
 編輯部 ” 高井博典 (委員 宇野良雄, 佃 泰三, 吉岡久男).
 親睦部 ” 坂井 弘 (” 前田治久, 吉澤覺文).
 事業部 ” 岩崎房治 (” 高井博典, 前田治久).
 觀測部 ” 前田治久 (流星課 宇野良雄, 變星課 佃 泰三, 遊星課 前田治久, 太陽課 伊達英太郎).

- 會 議 總 會……會の最高決議機關・毎年秋季定時總會開催
 幹事會……常務處理の首腦部會議・10月・1月・4月・7月開催.
 委員會……特定事項の研究遂行・必要に應じて設置.

大 阪 支 部 通 信 (9月)

☑支部報策12號發行

9月1日附支部報用紙1枚刷, 9月例會案内と談話室として「掩蔽觀測=對スル私見」(大連志龍須氏)が紙面を飾る. 每號の發送部數130部大阪天文研究會員にも配布されて居る.

☑9月例會の開催

9月5日(土)20時より Y. M. C. A. にて開會. 最初に8月11日—17日キャンプの報告あり次に天文談話と學者に物を訊く會として, 先づ阪大理學部の奥田毅氏の「分光器の話」に始まる(話の内容は追つて天界に連載). 望遠鏡解像力の質問に百濟先生が答えられ, 宮森先生は氣象觀測の専門的な話, 花山の高城氏はコロナ變動寫眞を示されつゝ説明され, 最後に西森紀久雄氏は器用に左手で黑板に圖を描きつゝ, 「二重星」の概括的な話をなして23時盛會裡に閉會した. 會場を開會直前に「をぐらや」から變更した爲か出席者少く15名であつたが, 皆熱心な人々で和氣霽々たるものであつた.

☑大口氏の天文旅行

大阪支部委員で有名な旅行家大口周作氏は, 去る6月19日皆既日食には花山第3觀測隊員として参加したが, 早くも來たる昭和16年9月21日に沖繩で見られる皆既日食の觀測候補地撰定の爲に, 7月23日より9月5日までの日數を費して沖繩に旅行を試みられた. その踏査は大阪支部10月例會に於いて發表さるゝ筈.

大 阪 支 部 10 月 例 會

1. 日 時 10月1日(木) 18時より.
1. 場 所 尼崎市立圖書館庭 阪神國道バスが便利 標識あり.
1. 「仲秋名月觀賞」と天文座談會 月見團子代として10錢御持參の事.

10 月 第 2 回 例 會

1. 日 時 10月17日(土)18時より.
1. 會 場 心齋橋筋八幡筋南入西側 をぐらや(心交社) 3階.
1. 講 話 「題未定」 宮森先生 其他.